

平成19年8月新生やまと塾第1回試演会
舞台詩「春・夏・秋・冬」公演のころ

水野 昂子

～発端・「大和爛漫」公演～

演劇やまと塾は市が計画したプロジェクトで、主催・企画・制作は財団法人大和
市スポーツ・よか・みどり財団だった。

平成17年（2005年）公募により参加者を募集。集った老若男女による、
一年間のワークショップや、講義研修を経たのち、平成18年（2006年）8月
19日（土）一度だけの発表公演をおこなった。会場は今は駐車場となってい
る、ベテルギウスの隣り、旧大和市学習センターホール。

大和市民劇団養成プロジェクト「演劇やまと塾」発表公演

「大和爛漫～和子の四季・桜の木の下で～」

脚本・錦織伊代 演出・田中信也 アドバイザー・横内謙介

横内さんが率いる扉座の座員のご指導をいただき、10歳から69歳の塾生た
ちは1年間の養成を経て舞台デビューとなった。

やまと塾・旗揚げ解散1回限りの公演であった。桜の花びらが舞台に舞い、
「月光仮面」のテーマソングが流れ、タイムカプセルから取り出したオルゴール
からは、「乙女の祈り」のメロデーが流れ、ウエディングドレスの花嫁さんも
登場し――。

満席の会場でお客様からいただいた大きな拍手、拍手。稽古を重ね、舞台での
公演を果たした塾生一同は、舞台のライトの中で、高揚感を味わっていた。が、
それもつかの間公演終了その日に解散式をロビーで行い、塾生は、分かれ分か
れとなった。

～同年（平成18年）10月 新生やまと塾発足～

10月になり、「自分たちでできるところから演劇を続けよう。」「あの公演の喜
びを再び」の声が集まり新生やまと塾が発足した。とりあえず年長者では引け
をとらない、私、水野がまとめ役となり、活動を模索した。

指導者には、「大和爛漫」の時から私たちを見守って下さっていた、貝塚吉次氏
にお願いした。大和市在住で、文学座養成所出身。演劇指導をめざす若手の男
性。おばさん達の話もよくきいて助言して下さった。貝塚氏は後に横浜市旭
区が立ち上げた旭区民ミュージカルの主要な指導者となられた。

再結成に参加した団員は男性が4名。女性が11名、うち子どもは1名IAさ
ん。おかつぱがかわいく、天性の表現力を持つ塾生だった。（塾生写真参照）

皆大和市在住・在勤者で、旧学習センター絨毯敷の部屋での稽古が多かった。

この翌年の春の話し合いで、やまと塾会長は若さあふれ、積極的で意欲的な佐竹育子さんに決まり、規約作り・会費徴収・地域へのボランティアなどが徐々に始まった。ボランティア連絡協議会への登録準備も進められた。

～平成19年8月19日 演劇やまと塾試演会～

舞台詩 春・夏・秋・冬 発表会

場所は市保健福祉センター

この舞台詩は貝塚演出の提案で、塾生各自が自分の表現したい詩を見つけて持ち寄り、自己紹介ののちに演技を交えて表現するというもの。

各自の工夫と演出家の指導により、素の舞台ながらも音響・照明も入り、楽しい舞台ができ上がった。夏休みの日曜日に、お客様も多数みてくださり、塾生はまた、うれしい拍手を頂くことができた。(プログラムは別紙のとおり。)

この後の年度内の活動は多彩であった。以下に紹介すると

～平成19年11月第2回公演 朗読劇「あしたへ続く道」～

作・手塚カズ 脚色・貝塚吉次

会場 市桜ヶ丘学習センター センター祭りに参加

鼠の母と子が住むところに、猫がやってきて暮らしている。ある日森へ出かけた一家。イタチが鼠を襲う。猫が敢然とイタチを追い払い鼠の命を助ける。

～平成19年12月 「アントキノツキ」～

作・演出 貝塚吉次

会場 桜が丘福田コミュニティセンター集会室 クリスマスお楽しみ会参加

段ボールの箱を沢山持ち込んで、魔法の国のクリスマス工場での会話。

段ボールで何を作るか、魔法のクリスマスプレゼントに使う。生きていく上で想像力が大切。

～平成20年3月 「ターミナル（終着駅）」～

作・演出 貝塚吉次

会場 林間学習センター りんぶん村の芝居小屋参加

老人ホームでの喜怒哀楽の物語。

この年から十数年が過ぎ、その間やまと塾はたゆまず公演を続けている。今年第30回公演予定は「シンデレラ・ストーリー」。コロナ禍退散後に、安全な条件のもとでの公演の日を目指し、塾生一同実力の蓄積に励んでいる。(以上)

団員紹介



安齋俊治



箱崎 淳



石田柚香利



原 京子



上原慶子



星野俊江



小林誠具



水野昂子



坂井くるみ



山下智代



佐竹育子



山口ゆう子



澤藤厚男



渡辺由美



長澤純子

新団員、賛助会員、ボランティア会員募集
一緒に大和を演劇で盛り上げましょう！

演劇やまと塾試演会

舞台詩

春・夏・秋・冬

構成・演出 貝塚吉次

平成19年8月19日(日)

開場 13:30PM 開演 14:00PM

大和市保健福祉センターホール

協力：大和市スポーツ・よか・みどり財団
やまとボランティアセンター

舞台詩 「春・夏・秋・冬」

オープニング

はる なつ あき ふゆ (大岡 信)・・・全員

春

風景 (山村暮鳥)・・・全員

つくし (門倉 詠)・・・坂井くるみ

はなやく朝 (坂田寛夫)・・・原 京子

春からでんわ (川崎 洋)・・・山下・星野・水野・原・佐竹・上原・長澤

それで それで それで (サトウ ハチロー)・・・星野俊江

北の春 (丸山 薫)・・・水野昂子

タンポポ (まど みちお)・・・山下・星野・水野・原・佐竹・上原・長澤

小林・渡辺・箱崎・安齋・坂井・石田

つゆふり (山口 麓)・・・渡辺・箱崎

六月の噴れ (任 務城)・・・渡辺・箱崎

夏

せみのおべべ (金子みすゞ)・・・石田柚香利

麦わらぼうし (はたち よしこ)・・・水野・星野・長澤

母のため息 (木下重吉)・・・箱崎 淳

夏の家 (川崎 洋)・・・山下智代

君と過ごす夏 (RUCO)・・・安齋俊治



秋

素朴な琴 (八木重吉)・・・安齋俊治

幻の花 (石垣りん)・・・長澤純子

用意 (石垣りん)・・・上原慶子

にんげんの季節 (島田陽子)・・・坂井・山下

鈴虫 (はたち よしこ)・・・原・星野

スイッチョの歌 (原田直友)・・・水野・佐竹

秋の夜の会話 (草野心平)・・・上原・渡辺 16名



冬

雪 (三好達治)・・・小林誠具

あわ雪 (金子みすゞ)・・・小林誠具

生い立ちの歌 (中原中也)・・・箱崎 淳

しもばしら (こやま峰子)・・・山下智代

ゆめ売り (金子みすゞ)・・・佐竹育子

雪 (清水みよこ)・・・渡辺由美



エンディング

風景 (山村暮鳥)・・・全員

さくらはなびら (まど みちお)・・・全員

